

Cure and Care
communication

第72号

コミュニケーション



ナカムラ病院

介護老人保健施設 まいえ
グループホーム つばい

特別養護老人ホーム

陽光の家

通所介護事業所
訪問介護事業所
居宅介護支援事業所発行所 〒731-5142 広島市佐伯区坪井三丁目818-1
Tel.082-923-8333(代) http://www.pia-gr.or.jp/

認知症精神科医療に求められている課題は、早期診断、認知症に伴う精神症状や行動障害(BPSDと言われます)の治療、介護との連携があげられます。

早期診断は、治療可能な認知症や認知症によく似た病気など医学的診断をすることはもちろんですが、患者さまやご家族の方が孤立することなく、医療や介護、福祉サービスを含めたさまざまな生活支援サービスを受けられるようにすることです。早期から適切な支援を行い、認知症の正しい心構えを形成することは、認知症の進行を抑制したり、家族のメンタルヘルス向上に繋がります。そのため、いかに早期診断に結びつけるかが重要です。かかりつけ医が物忘れに関する最初の窓口になる機会が多いと思われるため、かかりつけ医と認知症専門医との連携を充実させる必要があります。

不眠、徘徊、もの盗られ妄想、介護への抵抗など認知症に伴う精神症状や行動障害は、在宅介護への破綻やご家族への心理的疲労の大きな要因となります。認知症に伴う精神症状や行動障害への対応は、適切な介護環境を作つてあげることと、適切な薬物療法を行うことです。薬物療法は睡眠障害を改善し、イライラや怒りつばさを

抑えたり、不安を軽減させたりします。薬物療法は効果も早く副作用に注意しながら行えば、大変有効な方法なのです。患者さまの状況と生活環境などを勘案し、柔軟に対応することが大切です。

認知症精神科医療に 求められる 課題について



介護との連携についてですが、厚生労働省は、2012年度の診療報酬、介護報酬の同時改定で医療・介護の連携や在宅医療を充実させる方向性を示しました。このことは医療、介護、福祉が連携、

情報交換を図ることで、シームレスケア(切れ目のないケア)つまり地域包括支援ケアシステムを推し進めることです。認知症患者さまが住みなれた在宅で少しでも長く生活できるように、社会全体で支援していく体制が作られています。

一方、厚生労働省は平成三十二年までに精神科に入院した認知症患者のうち五十%が、退院させるまでの期間を二ヶ月以内とするという目標値を立てるべきだと見解をのべています。入院の主たる原因である認知症に伴う精神症状や行動障害について、おおむね一ヶ月程度の治療で改善するとの報告があるためです。しかし現状は認知症疾患治療病棟へ入院中の患者さまの九十%は、六十日以上入院しています。実際、入院患者さまの中には、認知症が進行し、認知症に伴う精神症状や行動障害や身体管理が必要で、いくら支援を整えても在宅や施設で対応できない場合、また家族がぎりぎりまで一生懸命介護し疲労困憊な状態で入院された方もおられます。

在宅支援システムが十分でないのに、在宅医療を推進することは患者さまやご家族に負担を強いられるのではと危惧しています。

ナカムラ病院 院長 塚野 健

新入職員12名にききました

あなたの元気のもととは？



食べることと
本を読むこと。

B1病棟 介護職
中川 章子



子どもの元気な
姿と笑顔。

B3病棟 看護職
泊 紀子



美味しいものを
食べる！

B4病棟 介護職
補陀 紘一



子供と遊ぶ
ことです。

B5病棟 看護職
田坂 夏子



雑貨屋に行く
ことです。

B5病棟 看護職
正木 佳代子



よく寝ること
です。

B6病棟 看護職
光島 美幸



食を楽しむ&
生の音楽鑑賞。

B7病棟 看護職
村岡 さおり



旅行に行くこと
です。

まいえ1 介護職
福山 智恵



美味しい物を
食べること!!

作業療法士
玉井 成美



十分な睡眠。

作業療法士
松尾 美穂



甘いものを
食べることです。

医療福祉相談員
高場 寿恵



みなさんの
笑顔です。

陽光の家 介護職
平田 雅巳

2012年度 新入職員研修

- 理念・基本方針
- 就業規則・給与規定・職務規定・社会保険等
- 個人情報保護
- 施設利用者の人権・医療・福祉関連規則
- リスクマネジメント
- 人事制度ガイダンス
- 院内広報誌について

- トランスファー講習
- 認知症
- 行動制限
- 認知症高齢者のコミュニケーション技術
- 高齢者の栄養管理
- 自己発動研修
- 接遇研修

- 骨折等外傷予防のための基本的注意事項
- 施設内感染
- 標準予防策・経路別予防策・手指衛生
- 歯科の役割・口腔ケア・義歯洗浄
- 施設見学

介護サービス情報の公表制度をご存知でしょうか？平成十八年四月から始まった制度で、毎年一回すべての介護保険事業者は介護サービス情報を調査票に記入し、指定情報公表センターに報告します。その報告に基づき、指定調査機関による事実確認が行われ、後日インターネットで情報を閲覧できるようになります。介護サービス情報には「基本情報」と「調査情報」があります。「基本情報」は職員体制、利用料金などの基本的な事項で、「調査情報」は介護サービスに関するマニュアルの有無、サービス提供内容の記録管理の有無などについてです。

情報をご覧になるには



▼ 検索エンジンで

広島県介護サービス情報

検索

<http://www.hksjks.jp/kaigosip/Top.do>

広島県社会福祉協議会のホームページからご覧いただけます

インターネットで 公表しています 介護サービス 情報

このサービスを利用していただくことで、さまざまな介護サービス事業者を比較し、選択できるようになります。

平成二十四年二月九日、ナカムラ病院介護療養病棟でも調査情報の確認が行われました。ナカムラ病院の調査情報は現在インターネット上で公表されています。この制度を通じて、益々当院のサービスの質向上に繋がれば、と思っています。

ナカムラ病院 医療福祉相談員

村上 直子

平成23年度 院内研修報告

研修委員会では毎年さまざまな院内研修を企画しています。ここでは昨年度行った院内研修をご報告致します。

4月	● 個人情報保護法について
5月	● 介護保険について
6月	● 救急蘇生について ● 腰痛予防体操 ● 看護記録について
7月	● ケアプランについて ● 口腔ケアについて ● 全国慢性期医療学会全国大会 報告会
8月	● 施設内感染・安全衛生について ● 当施設の防災体制について ● 褥瘡について① ● 看護・介護職で行う回想法
9月	● 薬の説明会①
10月	● 死後の処置・霊安室の使用について ● 新ストレッチャー・トランスファーボード等使用説明会

11月	● 手指衛生の重要性 ● 標準予防策・経路別予防策について ● ターミナルケアについて ● 防犯講習・訓練 ● 介護技術研修
12月	● 車イス・クッションの使い方について ● 高齢者ケア・コミュニケーション技術について
1月	● 接遇研修 ● 歯科関連異物の誤飲・誤嚥について ● 褥瘡について② ● 行動制限について
2月	● インフルエンザについて ● パーソンセンタードケアについて ● 骨折等外傷予防のための基本的注意事項 ● エンゼルケアについて～湯灌師の視点から～
3月	● 薬の説明会② ● 回想法・長谷川式・MMSEについて

※上記以外にも「インシデント検討会」「考課者研修」「研究発表」「院外研修報告会」「症例検討会」を定期的に行っています

陽光の家通信

【ドライブ】

先日、天候がよく暖かい日がありましたので、久しぶりにドライブにでかけました。

ドライブのコースは【陽光の家】を出発し、海が見たいということで、廿日市大橋を渡り、波の穏やかな瀬戸内海をバックに水鳥公園までドライブいたしました。短い時間でしたが、内容の濃い時間となりました。

この冬は寒い日が長く続き、なかなか外出する機会はありませんでした。そのため、みなさま「これから季節はいろんなところに出かけたいね」とお話しされ、いろいろな場所を思い浮かべながら楽しまれていました。



この度は車内でのお話で終わりましたが、「次回は外でおやつを食べるのもいいね」と職員からの提案もあり、職員もいろいろな行事を考えながら企画運営したいと思います。

特別養護老人ホーム 陽光の家 相談員

佐々木 雄治

歯科の扉

～高齢者の食について～

＊ ＊ 寝たきりの人の食事 ＊ ＊

寝たきりになると、食事や歯磨きは、介護する者にとって大変な労力を必要とします。しかしながら、私たちは口から食べてほしいと願っています。食べることは、食べ物を口の中にとらえ、唇を閉じ、咀嚼し、飲み込む一連の行為です。これらの機能が衰えると、食べ物が誤って気管や肺の方に入り、誤嚥性肺炎を起こすことがあります。免疫力の低下した高齢者にとって肺炎は命とりになることもあります。

寝たきりの方の食事場面を想像してみてください。大抵、寝ていながら食事の介助をする人の顔を見上げます。すると顎が上がりが道が開きやすくなり、食べ物が食道の方に行かず、気道へ入りやすくなります。ですから、よほどの重症でない限り、食事の時には上半身をできるだけ起こすか、座った状態が望ましいのです。私たちは、食事や歯磨きの時の姿勢にも気を配っています。



歯科医師 田地 豪

今年もご近所の寺本さまからお招きにあずかり、三次人形を見せたいいただきました。

お部屋に入ると、「まあ：ステキ！総勢十数名が色鮮やかな人形と桜や梅の花に迎えられました。

「大きくて立派ですね」「去年も見せていただきましたよね」と利

つばいこぼれ話

雑祭りの巻



用者さまは人形を手に取り、思い思いに話されました。桜茶や手作りの桜餅をいただく、さらに話が弾みま

寺本さま、ボランティアの皆さま、ありがとうございました。一足早い春を満喫し、心温まるひと時を過ごすことができました。

グループホームつばい ホーム長

川部 明美

第9弾

快護の匠



今回は養護老人ホームについての紹介です。今回説明して下さる匠は、城山・五日市観音地域包括支援センターの松本慶太さんです。

～養護老人ホームについて～

養護老人ホームとは…

- 環境上及び経済上の理由により、居宅で養護を受けることが困難な高齢者が入所し養護を受ける施設です。
- 特別養護老人ホームと違い、介護保険施設ではありません。
- 身の回りのことは自分でできる方が対象ですが、「※特定施設入居者生活介護」の指定を受けている施設では、施設内で介護サービスを提供できるようになっています。
- 施設によって、いろいろな年間行事やレクリエーション、クラブ活動を行っています。

対象者は…

原則として、65歳以上で、次の1と2いずれにも該当する方。

1 環境上の理由

- (1) 心身上の障害のため日常生活を送ることが困難であり、世話をしてくれる人がいないとき
- (2) 家族など同居の継続が困難なとき
- (3) 住むところがなく、または住まいがあっても極めて環境が悪いとき

2 経済上の理由

- (1) 本人の属する世帯が生活保護を受けている
- (2) 本人及び本人の生計を維持している人が、市町村民税の所得割を課されていない

料金は…

入所者及び主たる扶養義務者が費用徴収基準により、所得に応じて負担することとなります。

(月額0円～14万円程度)

被爆者手帳をお持ちの方は、費用徴収基準による負担金に相当する額が助成されます。

入居申し込みは…

住所地の各市区町村の健康長寿課高齢福祉係(福祉事務所)で手続きが必要となります。

※特定施設入居者生活介護…有料老人ホームや軽費老人ホーム、養護老人ホーム等の入居者であるが要介護者が、その施設で特定施設サービス計画に基づき、入浴・排泄・食事等の介護、生活に関する相談・助言等の日常生活上の世話や、機能訓練・療養上の世話を利用するサービスです。施設が委託契約した訪問介護事業所等を利用する外部サービス利用型もあります。

お近くの養護老人ホームについては、広島市や広島県のホームページやWAM NET(ワムネット)<http://www.wam.go.jp/>を参照していただくか担当のケアマネージャーや区役所、地域包括支援センターにお問い合わせください。

接遇研修

毎年恒例となつていている接遇研修を今年も二日間行い、合わせて六十三名の職員が参加しました。今年も成和産業㈱の接遇インストラクターである平儀野様をお迎えしました。

毎年、職員が接遇面で困つていることを先生に相談し、その上でテーマを決めてお話ししていただいています。今年は主に「電話応

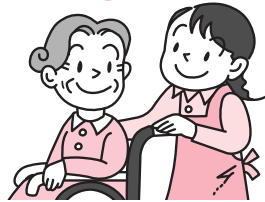
対」「気持ちの持ち方」といったことがテーマでした。「気持ちの持ち方」というのは今までにないテーマだったので興味深く聞きました。「同じ仕事を、つまらないと暗い気持ちでするのか、楽しい気持ちで前向きにするのかは自分自身で決められる」「相手を喜ばせて自分も喜びを分かち合おう」といった言葉がとても納得できました。『接遇は人のためならず』という新たな発見でした。

ナカムラ病院 事務部

久保田 綾



FROM ボランティア



今回は陽光の家に毎週ボランティアに来られる代表の河田さまにお話を伺いました。

ボランティアをしていて一番嬉しいことは、入所者さまみんなで歌を歌うことです。発語がなかなか出てこない方でも手拍子やリズムをとって参加していただけることです。また、コックリ、コックリとたたた寝される利用者さまもいらっしやいました。歌を歌う事で私達と気持ちがひとつとなり時間を過ごすことが一番嬉しいことです。昔のことを思い出すのはとても良いことで、その中でも「赤とんぼ」の曲はとても印象深いものがあります。皆さんがよく知っている曲でもありますし、涙を浮べて歌われていた利用者さまのことをよく思い出します。沢山の利用者さま

と一緒に何かをするのが楽しい事でもありますし、嬉しいことでもあります。できるだけ長くボランティア活動が続けられるように、私達も頑張っていきたいと思えます。



▲芸能発表会にも利用者さまと一緒に参加しました!!

スタッフインタビュー

● 毎回シリーズでお届けしている各部署責任者へのインタビュー。今回はA3病棟の栗原夏代科長です。

Q・看護師を目指されたきっかけを教えてください。

A・父が入院した時、テキパキとした看護師さんの仕事を見て、これだ!と思いました。

Q・仕事にやりがいを感じるのはどのような時ですか?

A・患者さんの苦痛や不安が軽減し、笑顔を見せていただけた時。

Q・リフレッシュ方法はありますか?

A・ソフトバレーボールを夢中でする事。孫をだっこする時。

Q・今一番楽しみなことは?

A・孫と遊べること。

Q・今後挑戦してみたいことはありますか?

A・八十歳までソフトバレーボールをプレーしたい。

ありがとうございました。

毎年恒例の新春お茶会が一月二十日にデイケアで行われました。今回のお茶会も表千家の金子先生と観音台のボランティアの皆さんが来て下さりました。デイルームにはお茶席や、掛け軸、釜等が準備され、いつものデイルームの雰囲気とは違い、利用者さまはとても楽しみにされていました。いざお茶会がスタートし、先生がお茶を立てられると皆さん食い入るように見ておられました。お茶は順番に利用者さまに振る舞われ、お茶菓子と一緒に召し上がったいただきました。「美味しい」といった声や「苦いねえ」と言う声など、それぞれ感想を述べられていました。

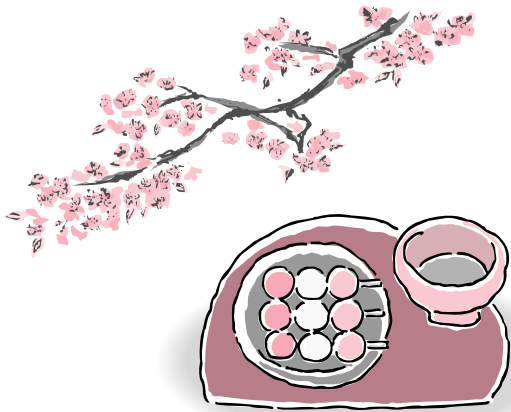
新春お茶会

デイケア
にぎや家



お茶が全員に行き渡ると、先生に掛け軸やお花の説明、初釜の言葉や効能等の話もしていただきました。広島では縮景園でのお茶会が有名という説明がありました。その後何人かの利用者さまに感想をお聞きすると、一人の利用者さまが「縮景園のお茶会には行ったことがある。」と話され、女性の利用者さまの中には、昔お茶を習っていたと言う方もおられました。皆さん昔の思い出を話するなど新春のお茶を味わっておられました。

医療福祉相談員 中森 一宏



いきいき行事ダイジェスト

1月

- 新春互礼会(陽光の家)
- 絵馬奉納&新年会(まいえ)
- 初詣(つばい)
- 初詣(B1・B3・B4)
- お正月会(B5)
- 運営推進会議(つばい)
- 昼食バイキング(まいえ2)
- 新春お茶会(にぎや家)
- カルタ大会・福笑い(A3)
- 新春風船バレーボール大会(リハビリ)
- 昼食バイキング(まいえ1)
- 新春お茶会(B6)
- ぜんざい作り&二人ばおり大会(まいえ2)
- 生活ボランティア(陽光の家)
- 生花クラブ(陽光の家)
- 法話会(陽光の家)
- 音楽クラブ(陽光の家)



2月

- 節分・豆まき(B7)
- 節分(まいえ1)
- 1月・2月の誕生日会と豆まき(B4)
- 節分ゲーム大会(にぎや家)
- 料理教室(まいえ2)
- 昼食バイキング(まいえ2)
- 節分ゲーム&ようかん作り(まいえ2)
- ミセスマリリンさま&津軽三味線
- 梅田屋さまによる演奏会
(全体行事)
- 料理教室(湯豆腐づくり)&
2月お誕生日会 (まいえ1)
- 生花クラブ(陽光の家)
- 生活ボランティア(陽光の家)
- 音楽クラブ(陽光の家)
- 法話会(陽光の家)



3月

- 料理教室(甘酒作り)
- ひなまつり(つばい)
- ひなまつり(B5)
- ひな祭り寿司作り(にぎや家)
- 昼食バイキング(まいえ1)
- 運営推進会議(つばい)
- ひな祭り(まいえ2)
- 法話会(リハビリ)
- お雛様祭り(B6)
- 昼食バイキング(まいえ2)
- 生花クラブ(陽光の家)
- 生活ボランティア(陽光の家)
- 音楽クラブ(陽光の家)
- 法話会(陽光の家)





平成24年 5月 ▶ 8月

今後の予定 ※展示内容は一部変更する場合があります。

展示場所	期間・内容
第一展示コーナー	5月上旬→6月下旬 くすのきようちえん こども絵画展
	7月上旬→8月下旬 撮影会上位入賞作品展 全日本写真連盟・広島県本部
第二展示コーナー	6月下旬→8月下旬 ふたり展2012 (いいだてつや・太田絵里子)

ギャラリーで作品展をしてみませんか

病院内の美術ギャラリーで患者さまや地域の皆さまに喜んでいただける美術作品展の事業をすすめております。

「自分の描いた作品や写真などを患者さまのために…」と思われる方は美術ボランティア作家として、この企画に参加ください。

● ギャラリー使用料	無料
● 作品展示・撤去	原則使用者負担
● テレビなどへの案内・チラシ制作費	当方負担

ギャラリー顧問 赤木 博典

詳細は ▶▶▶ TEL 082-923-8333 (担当・中田)

褥瘡の危険要因として体動不良・骨の出っ張り・関節が固くなる・栄養不良や貧血・便尿などによる汚染・むくみ・皮膚の弱さ・ずれなどがあげられますが、これらの原因として麻痺や骨折・食欲低下や嚥下(えんげ)障害・脱水症・感染症・認知症その他の合併症など全身状態が影響します。

褥瘡対策は予防と早期発見が大切です。危険要因を除き、よい状態を保つことです。座りつきり・寝たきりにならないようからだ

家庭の医学 その15 「褥瘡」(床擦れ)について

ベッドや椅子でからだは動かせないでいるとからだの重みが背中や腰、かかとなどに集中したままになります。するとそこが赤くなって圧がかからなくなっても赤みが消えず持続する場合に褥瘡を疑います。赤みに水疱やただれを伴うこともあります。損傷が深くなると紫がかつたり黒っぽい壊死(えし)となりこれが融解して褥瘡潰瘍となります。

を動かし生活リハビリにつとめます。椅子上では座り直しを援助し、車椅子は適したものを選び、ずれないように姿勢を整えます。ベッド上ではからだの向きを適時換え、ずれないように注意しクッションなどで支えて左右の膝などが互いに強く接触しないようにします。早めにエアマットなど適した体圧分散マットを検討することも大切です。

おむつ交換や入浴時など日常のお世話の中で仙骨部・腰や臀部・肘・かかと・くるぶしなど出っ張って体圧がかかる危険な部分に皮膚の変化がないか注意します。

褥瘡対策はチーム医療です。栄養・リハビリ・看護・介護・医師その他全職種の協力が大切です。在宅での支援・情報も大切になっていくようです。

ナカムラ病院

医師 迫田 英子

祝! 合格

働きながら勉強し、見事に資格を取った職員の方々です。おめでとうございます。

- 【看護師】 福橋 桂子 栗田 広宣
- 【准看護師】 三浦 幸子 高橋 美穂 泊 紀子 坂根 多枝
西本 敦子 村岡さおり 森脇 康貴
- 【介護福祉士】 後藤 正子 宮崎 朋子 黒田由美子 田中 亮治
山口 雅代 日野 郁子 佐々木雄治 浅井 明美
- 【介護支援専門員】 村上 直子
- 【認定看護師(老年看護)】 山根 次美
- 【診療情報管理士】 沖 紗奈江
- 【臨床心理士】 熊田 真宙 道本美有紀

編集後記

みなさま、お気付きでしょうか？
今号より1ページ目の「C&C コミュニケーション」のロゴが新しくなりました！

ほんのりと赤くなっている頬とニコニコおくちを付けて足してニコニコ笑顔になっています。C&Cを通じてみなさまに笑顔をお届けしたい。という想いを込めました。

新年度がスタートし、新入職員も入ってきました。新しい風をいっぱい感じながら心機一転フレッシュな気持ちで頑張りますのでこれからよろしくお願ひします。

(I)